

エコアクション21

企画から提案、板金加工、塗装、組み立て、検査までの
社内一貫生産がニッシンの強み



環境経営レポート

対象範囲（全ての製品及びサービス）

活動期間（2021年8月～2022年7月）

発行：2022年 8月 1日



1. 目次

1. 目次	・・・P2
2. 会社概要	
・事業所名、所在地、主要取引、事業内容、主要製品、会社沿革、etc.	P 3-P 5
・経営理念、品質方針、環境経営方針	・・・P 6
・環境経営組織と権限、環境保全関係の責任者及び担当者連絡先	・・・P 7-P 8
3. 環境経営活動	
・環境経営目標	・・・P 9
・環境経営計画	・・・P10
・環境経営目標の実績	・・・P11
・環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価	・・・P12
・5 4 期の提案制度、5 S・安全衛生活動の取組について	・・・P13-P14
・5 5 期(2022 年 8 月～2023 年 7 月)からの取組	・・・P15
4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・P15
5. 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・P16

2. 会社概要

Technique of Nisshin



会社概要

称号	株式会社ニッシン
設立	昭和44年5月1日
所在地	埼玉県飯能市落合500-1 TEL 042-974-1161(代) / FAX 042-974-1705
資本金	1,000万円 売上 71,029 万円
代表者氏名	手塚 文紀
社員数	50 名 (パート、研修生含む)
URL	http://www.nisshin-corp.com/
E-mail	ogawa@nisshin-corp.com n-harada@nisshin-corp.com

お問合せ先 営業部 小川、原田

取引銀行 飯能信用金庫 黒須支店
埼玉りそな銀行 飯能支店
日本政策金融公庫 さいたま支店
青梅信用金庫 飯能支店

グループ企業 株式会社エスイー
〒350-1327 埼玉県狭山市笹井3015
TEL 04-2953-2118 / FAX 04-2952-0025
<http://www.esuii.com/>



事業内容

機械設計、プログラム、精密板金加工、塗装、電装組立



主要製品

電気機器筐体及び部品、O A 機器、医療機器、ダストボックス等



主要取引先

■株式会社リコー ■リコーインダストリー株式会社
■リコーインダストリアルソリューションズ株式会社
■株式会社平山製作所 ■株式会社明光商会 ■センターピア株式会社
■有限会社小林製作所 ■日立化成株式会社 ■中村電気株式会社
■日本セイフティー株式会社 ■日昭電器株式会社 ■宝永電機株式会社
■三徳商事株式会社 ■株式会社イワキ ■株式会社ニッソー冷熱製作所
■株式会社モリタ東京製作所 ■ヨシトヨ工業株式会社 ■株式会社スタック
他数十社 (順不同)



会社沿革

昭和44年5月 東京都新宿区に資本金200万円にて設立
昭和45年2月 埼玉県飯能市に本社工場移転
昭和45年6月 資本金800万円に増資
昭和54年7月 業務拡張の為、板金組付工場増設
昭和54年11月 業務拡張の為、塗装工場増設
昭和55年2月 塗装工場に新ライン設備導入
昭和59年5月 NCT(PEGA)導入
昭和60年11月 レーザーマシン(LC2-644)導入
昭和61年1月 レーザーマシン(LC2-644-II)に入れ替え
平成3年6月 塗装前処理装置、排水処理装置設置及び塗装ライン全面改良
平成7年11月 資本金1000万円に増資
平成8年4月 医療用機器製造業許可証取得(埼玉県)
平成8年5月 医療用機器のOEM生産開始
平成9年8月 渋谷光博 代表取締役社長就任
平成12年2月 NCT(ビプロスZ358NT)及びサイクルローダー導入
平成12年10月 粉体塗装設備導入
平成16年5月 複合機(アペリオⅢ)及びマニプレーター導入
平成17年8月 前処理設備改良更新
平成17年8月 埼玉県知事から経営革新計画(平成17年8月～平成22年7月)の承認を受ける
平成17年11月 環境マネジメントシステム"エコアクション21"認証取得
平成18年3月 CNCタレットパンチプレス(EM2510NT)導入
平成20年8月 渋谷光博 代表取締役会長就任
手塚文紀 代表取締役社長就任
平成21年8月 化学物質管理システム"リコーCMS"認証取得
平成24年3月 高精度ベンディングマシン(HDS-1303NT)導入
平成24年5月 品質管理システム(ISO9001:2008)認証取得
平成26年7月 YAGレーザー溶接機(YLM-500PII)導入
平成27年11月 テーブルスポット溶接機(NK-03H100-10-KG-EZ高速溶接技術システム)導入
平成28年7月 高速・高精度サーボベンディングマシン(EG-6013)導入
平成28年9月 パリ取り機(AuDeBu1000型)導入



この社内一貫生産が
ニッシンの強み!

価格低減の
ご提案や
図面の作成

板金加工

検査



株式
会社

ニッシン

塗装

組み立て

板金加工と塗装業者が別の場合、製品の移動"横もち"が発生したり、製品に関わる業者が多くなる程、管理費が増えたり、リードタイムが長くなったり、品質に対する責任の所在があいまいになりがち。

社内一貫生産が可能なニッシンであれば、責任を持って、板金塗装の品質を保証し、

お客様のご要望に見合った価格・納期をご提案致します。



ニッシンの製品

当社は昭和44年創業以来、板金加工、塗装、組立の一貫生産を通して常にお客様に満足して頂ける商品とサービスを提供し、社会に貢献する事を考えた「ものづくり」を行ってまいりました。この間に構築された当社の技術、サービスを、時代の変化と共に更に進化させて、今後もお客様に満足して頂ける、感動して頂ける、そして人や地球にやさしい「ものづくり」を目指して全社員一丸となって頑張っております。



産業用機器のカバーの一部 (仕掛部品)

この後、製機→前処理→塗装→検査→梱包の順に作業が進みます。



産業用機器のカバーの一部

R面もきれいに仕上げます。



産業用機器筐体

塗装がない品物(アルミ、ステンレス等)も扱っております。



歯科医療用機器

特殊な形状でもきれいに仕上げます。



医療用殺菌キャビネット

板金加工、塗装、組立、完成まですべてニッシンで行う事が出来ます。(医療用機器製造業許可認定取得済み)



製品のコーナー部の拡大写真

丸みのあるコーナーをこのようにきれいに仕上げ、美しい塗装を施すことが出来ます。



課金機

この製品はニッシンで筐体の制作から組立、動作確認検査、梱包、出荷までを一貫して行っております。



アクセス

〒357-0047 埼玉県熊谷市落合500-1

■ 電車でお越しの場合

西武池袋線 熊谷駅南口より車で5分
(ご連絡を頂ければお迎えがあります)

■ お車でお越しの場合

圏内道 北止目黒1Cより約20分
圏外道 1Cより約15分



経営理念

お客様の要望には最大限の力で応え、無駄を徹底排除した高効率体質を構築し、社会に貢献する経営を行う。

品質方針

「品質によってお客様の満足を得、品質によって社会に貢献する」を念頭に国際標準に配慮し、お客様により良い製品とサービスを提供する。
その為に下記1)～3)に重点を置き継続的改善を実施する。

- 1) お客様要求事項を満たし、加工技術の向上を図り、お客様に満足される製品を生産し、提供する。
- 2) 品質マネジメントシステムを構築し、継続的にマネジメントシステム、プロセスの改善を行う。
- 3) お客様のクレームは迅速に対応し、是正、予防処置を見直し、再発防止に努める。

環境経営方針

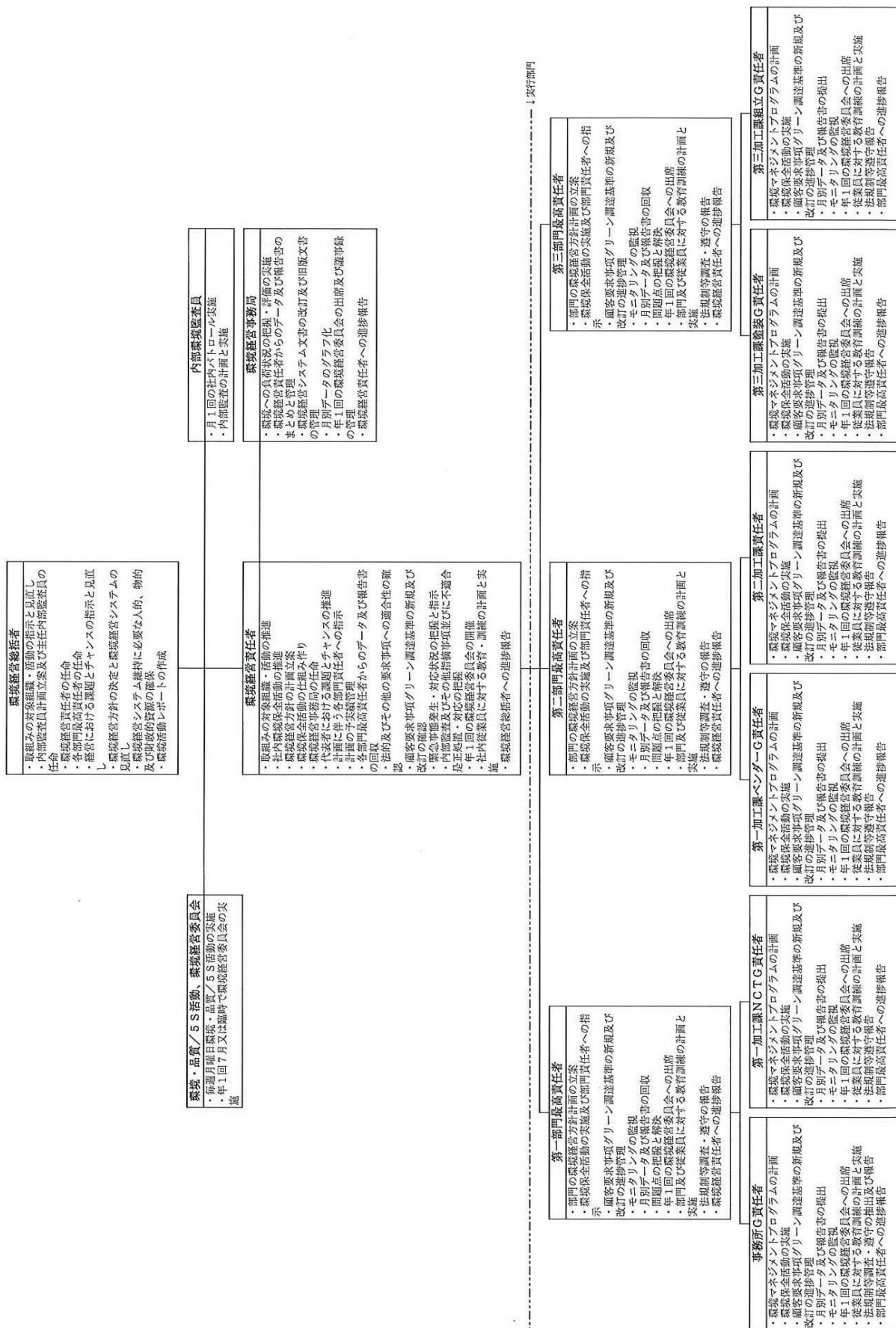
当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工、塗装、組立業務を通じて次に示す活動を優先事業活動の1つとして行います。

1. 関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。
2. 二酸化炭素削減・廃棄物の削減・上水の削減・グリーン購入の推進に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。
3. 分別の徹底、リサイクル品の積極的な採用により資源リサイクルの推進を図る。
4. 含有禁止物質及び有機溶剤の管理を徹底する。
5. 環境マネジメント活動に、“品質管理”と“5S活動”をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。
6. 社員一人ひとりがこの方針を理解し、スキルアップに努め、環境管理のスペシャリストになる。

2022年 8月 1日

生産本部長 **安達 知明**

株式会社ニッシン環境経営組織機能図



※ 各部門責任者は1年毎に担当者が変わります。

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者（環境経営責任者）：生津 節男

E-mail：namazu@nisshin-corp.com

担当者（環境経営事務局）：梅澤 重隆

E-mail：umezawa@nisshin-corp.com

電話番号：042-974-1161

FAX 番号：042-974-1705

3. 環境経営活動

環境経営目標

51期を基準とし52期、53期、54期の3年間で中期目標は次の通り。

NO.	環境負荷項目		単位	51期基準	52期計画	53期計画	54期計画	備考
1	サ製 品 ビ ス び	含有禁止 物質	%	含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	グリーン購入としても取り上 げる 客先要求事項に対する実績数 値
2	水 入 資 源 投	上水	m ³ (金額)	2,475 (¥1,064,959)	51期金額から 目標1%減 2,450 (¥1,054,309)	51期金額から 目標2%減 2,426 (¥1,043,660)	51期金額から 目標3%減 2,401 (¥1,033,010)	
3	素二 酸 化 炭	電力	kWh (kg-CO ₂)	671,494 (329,655) CO ₂ 排 出係数 0.533,0.441	51期排出量から 目標1%減 664,779 (326,358)	51期排出量から 目標2%減 658,064 (323,062)	51期排出量から 目標3%減 651,349 (319,765)	CO ₂ 削減の為にテーマ
4	廃 棄 物 排 出	一般廃棄物	kg (金額)	1,000 (¥20,000)	51期金額から 目標1%減 990 (19,800)	51期金額から 目標2%減 980 (19,600)	51期金額から 目標3%減 970 (19,400)	
5		金属くず (異常発 生品)	kg	770	51期排出量から 目標1%減 762	51期排出量から 目標2%減 755	51期排出量から 目標3%減 747	
6	グ リ ン 入 力	事務用品	%	購入率78.4%	51期グリーン 購入率から 購入率90%	51期グリーン 購入率から 購入率90%	51期グリーン 購入率から 購入率90%	

※1：上記の表は51期（2018/8～2019/7）52期（2019/8～2020/7）53期（2020/8～2021/7）
54期（2021/8～2022/7）

※2：有機溶剤、非常時・緊急時については管理項目として掲げる。

※3：削減目標は基準年売上比率－各使用量・排出量比率とする。

※4：目標数値は参考値の為に（ ）とする。

【全社テーマ】

- 電力消費量(CO₂)の削減・・・51期金額を基準、54期末までに3%減
- 一般廃棄物の削減・・・51期金額を基準、54期末までに3%減
- 上水の削減・・・51期金額を基準、54期末までに3%減
- 含有禁止物質の管理・・・客先要求事項による徹底管理。
- 有機溶剤の管理・・・要求事項による徹底管理。
- グリーン購入の推進・・・51期購入率を基準、54期末までに購入率90%達成

【部門テーマ】

1. 事務所G
 - 電力消費量(CO₂)の削減・・・51期排出量を基準、54期末までに3%減
2. 第一加工課NCTG、第一加工課ベンダーG、第二加工課、第三加工課塗装G、第三加工課組立G
 - 異常発生品スクラップの削減・・・51期排出量を基準、54期末までに3%減

環境経営活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値 計 画			担当部門 ／責任者	手順書
				52期末1%	53期末2%	54期末3%		
1	電力消費量 (CO ₂)の削減	51期金額 基準 54期末3% 減	1. デマンド管理と照明器具等見直し 2. デマンド管理による節電実施 3. デマンド管理による節電実施				全部門	電力削減手順書 デマンド管理 (電力消費量(CO ₂)削減)
2	廃棄物の削減	51期金額 基準 54期末3% 減	1. 廃コピー用紙の再利用の徹底 2. 購入品等の廃棄物の再利用化 3. 廃棄物運搬頻度の削減				全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	51期金額 基準 54期末3% 減	1. 水道、蛇口、トイレの節水 2. 使用メモリ対策の推進 3. 使用メモリ対策の推進				全部門	上水削減手順書
4	含有禁止物質 の管理	客先要求 事項による 徹底管理	1. レベル1 含有成分即時納入禁止 2. レベル1, 2 含有成分即時納入禁止 3. レベル1, 2 含有成分即時納入禁止				全部門	含有禁止物質管理手順書
5	グリーン購入 の推進	51期購入 率基準 54期末 90%達成	1. 事務用品の現状把握 2. グリーン購入の選定と購入の推進 3. グリーン購入の選定と購入の推進				全部門	グリーン調達手順書
6	異常発生品スクラップの削減	51期排出 量基準 54期末3% 減	1. 異常発生品の低減化 2. 異常発生品防止策の実施 3. スキルに対する見直しと試行と実施				第一加工課 NCTG ベンダーG 第二加工課 第三加工課 塗装G 組立G	異常発生品スクラップ削減手順書

実施試行、 維持

※ 1 : 51期 (2018年 7月～2019年 7月)、52期 (2019年 7月～2020年 7月)、53期 (2020年 7月～2021年 7月)
54期 (2021年 7月～2022年 7月)

上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

電力(CO₂)の削減 : 電力メーターの設置により、基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、又、使用していない照明器具等の撤去等を行う。

一般廃棄物の削減 : 雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。

上水の削減 : 各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。

含有禁止物質の削減 : 客先要求事項により含有禁止物質使用をしない。(グリーン購入の推進)

金属くず(異常発生品) : 異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。

グリーン購入の推進 : 事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。

※ 有機溶剤は管理項目として掲げる。

環境経営目標の実績

51期を基準とし、52期、53期、54期の実績は次の通りである。

NO.	売上/環境負荷項目		I：投入 O：排出	単位	51期	52期	53期	54期	備 考
1	売上		-	円	売上目標 月：71,500,000 年：858,000,000 売上実績 月：80,505,173 年：966,062,075	売上目標 月：74,500,000 年：894,000,000 売上実績 月：70,122,969 年：858,817,951 51期より 11.1%減	売上目標 月：75,000,000 年：900,000,000 売上実績 月：67,659,598 年：811,918,479 51期より 15.9%減	売上目標 月：71,000,000 年：852,000,000 売上実績 月：59,209,133 年：710,509,600 51期より 26.5%減	基準期との 売上比率
2	製品 及び スビー ビー	使用禁止 物質	I	%	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	客先要求事項に 対する実施 グリーン購入 推進項目
3	水資源 投入	上水	I	m ³ (円)	2,475 (¥1,064,959)	削減目標1% 2,450 (¥1,054,012) 目標実績 2,382 (¥1,033,741) 9.96%増	削減目標2% 2,426 (¥1,043,366) 目標実績 2,228 (¥960,211) 6.12%増	削減目標3% 2,401 (¥1,032,719) 目標実績 2,341 (¥1,018,835) 22.12%増	各削減目標は、 51期の金額を基 準に実施 金額にて比較
4	エネルギー 使用量	電力	I	kWh (円)	605,223 (¥13,299,230)	削減目標1% 599,171 (¥13,166,238) 目標実績 622,113 (¥13,263,303) 12.63%増	削減目標2% 593,118 (¥13,033,245) 目標実績 608,256 (¥11,849,526) 5.06%増	削減目標3% 587,066 (¥12,900,253) 目標実績 592,049 (¥14,122,370) 31.89%増	各削減目標は、 51期の金額を基 準に実施 金額にて比較
			O	kg-CO ₂ 排出係数 0.533 0.441 ※3	329,655	削減目標1% 224,689 目標実績 233,292 15.69%増	削減目標2% 222,420 目標実績 228,096 16.46%増	削減目標3% 220,150 目標実績 329,655 22.17%増	各削減目標は、 51期の排出量を 基準に実施 CO ₂ 削減の為
		全エネルギー CO ₂ 排出総量	O	kg-CO ₂	671,494	525,255	680,856	578,675	
5	廃棄物 排出	一般廃棄物	O	kg	1,000 (¥20,000)	削減目標1% 990 (¥19,800) 目標実績 1,480 (¥29,600) 60.9%増	削減目標2% 980 (¥19,600) 目標実績 760 (¥15,200) 8.04%減	削減目標3% 970 (¥19,400) 目標実績 1,340 (¥26,800) 60.45%増	各削減目標は、 51期の金額を基 準に実施 金額にて比較
6		金属くず (異常発 生品)	O	kg	770 (¥16,701)	削減目標1% 762 (¥16,534) 目標実績 4,940 (¥61,558) 554.45%増	削減目標2% 755 (¥16,367) 目標実績 2,420 (¥67,847) 230.24%増	削減目標3% 747 (¥16,200) 目標実績 2,950 (¥171,193) 309.57%増	各削減目標は、 51期の排出量を 基準に実施 排出量にて比較
7	グリーン 購入	事務用品	I	%	購入率 91.1%	達成目標90% 目標実績 91.3% 購入率達成	達成目標90% 目標実績 90.5% 購入率達成	達成目標90% 目標実績 92.3% 購入率達成	各削減目標は、 51期の購入率を 基準に実施

※1：上記の表は51期（2018/8～2019/7）52期（2019/8～2020/7）53期（2020/8～2021/7）

54期（2021/8～2022/7）

※2：目標値、実績値は基準期をベースとし、売上との比率にて計算しております。

※3：排出係数は、令和3年度（株）関電エネルギーソリューション、東京電力（株）の実排出係数を使用しています。

※4：電力以外のエネルギーは、削減策が困難な為、維持管理項目としております。

環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価

5 1 期の具体的な取組と結果とその評価については以下の通りである。

環境目標	取組項目	単位	結果(基準期との比較)				54期評価と55期からの取組内容		
			基準期 (51期)	52期	53期	54期	評価	評価に対する コメント	継続有無 取組内容
売上	—	%	基準期との比較				—	—	—
			966,062,075	858,817,951	811,918,479	710,509,600	—	—	—
			—	11.1%減	15.9%減	26.5%減	—	—	—
客先要求事項に対し 含有禁止物質の管理 の徹底を行う。 (グリーン購入)	◎客先要求事項の把握 ◎含有禁止物質の管理 ◎代替え品等の把握と対応	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	○	客先要求事項に対し 迅速に把握し、含有 禁止物質に対する調 査、管理等を徹底 し、かつ客先からの クレームも無い事か ら目標達成致しまし た。	継続有 同等管理 で継続
			含有禁止物質による客先クレーム状況						
				無	無	無			
上水の使用量を51期 を基準として54期末 までに3%削減する。	◎各部門こまめな節水 ◎第三加工課塗装Gの前処理に 対する吊り掛け方法の改善 (生産効率による節水)	m ³	2,475	2,382	2,228	2,341	×	51期に比べて54期は 売上が26.5%減に対 し22.12%増となっ た。売上対となっ ているのと、前処理槽 に使用する量が決 まっている為、削減	継続有 同等管理 で継続
		金額	1,064,959	1,033,741	960,211	1,018,835			
			売上金額との比較(基準期からの比較)						
電力消費量(CO ₂)を51 期を基準として54期 末までに3%削減す る。	◎デマンド236kWhの管理 ◎各部門空調機関係のこまめな 節電 ◎各部門業務に支障が無い程度 の蛍光灯の撤去	kWh (kg-CO ₂)	605,223 (329,655)	622,113 (326,217)	608,256 (324,186)	592,049 (315,548)	×	51期に比べて54期は 売上が26.5%減に対 し、金額比較にてが 31.89%増となっ てしまった。売上対 となっている為、削減 がされなかった。	継続有 同等管理 で継続
		金額	13,299,230	13,263,303	11,849,526	14,122,370			
			売上金額との比較(基準期からの比較)						
一般廃棄物排出量を 51期を基準として54期 末までに3%削減す る。	◎各部門コピー用紙、段ボール等 リサイクルへ循環させる ◎家庭のゴミ等は持ち込まない	kg	1,000	1,480	760	1,340	×	51期に比べて54期は 売上が26.5%減に対 し60.45%増で目標値 未達成だった。54期 は5S活動にも力を入 れていた為不要品の 廃棄が増えた。	継続有 同等管理 で継続
		金額	20,000	29,600	15,200	26,800			
			売上金額との比較(基準期からの比較)						
異常発生品スクラップの 排出量を51期を基準 として54期末までに 3%削減する。	◎各グループで発生した異常発生 品についての再発防止の実施 ◎品質管理と5S活動をリンクさせ スクラップ向上の実施	kg	770	4,940	2,420	2,950	×	51期に比べて54期は 売上が26.5%減に対 し309.57%増となっ てしまった。52期に正 確なデータを取った 為、比較すると削減 されている。	継続有 同等管理 で継続
			16,701	61,558	67,847	171,193			
			基準期との比較						
文房具等のリサイクル材使 用製品を51期を基準 とし、54期末までに 90%達成にする。	◎文房具等のリサイクル材使用品の 現状把握 ◎リサイクル材使用品の選定と購入 個数の限定設定	%	91.1%	91.3%	90.5%	92.3%	○	51期基準より54期は 92.3%達成出来た。 引き続きリサイクル品の選 定と購入を行う。	継続有 同等管理 で継続
			達成状況						
				達成	達成	達成			

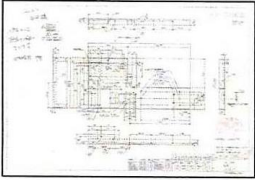
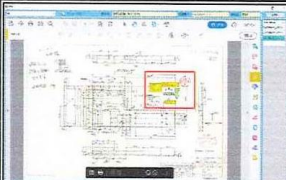
※上記の表は51期 (2018/8～2019/7) 52期 (2019/8～2020/7) 53期 (2020/8～2021/7)

54期 (2021/8～2022/7)

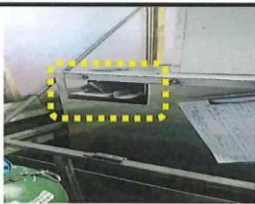
5 4 期の提案制度、5 S・安全衛生活動の取組については以下の通りである。

・提案制度活動の取組

①

改善のテーマ	皿加工向き間違え		
改善前 (BEFORE)	 図面には「皿裏面より」と指示があった為、製品の裏面から皿加工した。しかし、図面は裏面から表示している為、表面加工であった。		
改善後 (AFTER)	 画像システムに図面を表示して、加工詳細を登録させた。		
改善の効果	図面が分かりやすくなった、加工の間違いが無くなった。 削減予測算出時間 (月単位) : 分の削減		

②

改善のテーマ	作業時用Lアングル収納棚		
改善前 (BEFORE)			
改善後 (AFTER)			
改善の効果	棚の上に直置きに乱雑に置いてあったこともあり、見栄えも悪かった為、アングル専用収納棚を製作。作業終了後に決められた場所に戻す事で整理整頓に繋がった。 $1 \times 4 \times 20 = 80 \div 60$ 削減予測算出時間 (月単位) : 1.33 分の削減		

③

改善のテーマ	パイロスパッター削減		
改善前 (BEFORE)	 銅板なし。 5台作業に30分		
改善後 (AFTER)	 銅板あり。 5台作業に25分		
改善の効果	スパッター除去の削減予測算出時間は1回の作業削減を約1分とし、1ロット40台左右80回作業を想定し、$1 \text{分} (1 \text{回作業分数}) \times 80 (1 \text{ロット} 40 \text{台の動作回数}) = 80 \text{分}$ 削減予測算出時間 (月単位) : 分の削減		

5 S 活動

■ 2022年3月から事務所G・組立Gを5Sのモデルとして改善活動を実施 ※目標は5S診断チェック表50点とする。

■ 事務所G・組立G各計画書

目標に向かう為の実施事項	3月	4月	5月	6月	7月
事務所G					
・ 現状の把握	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済
・ 物置の整理整頓	→	→	→	→	→
・ 事務所内物の立て掛け等整理整頓	→	→	→	→	→
・ 不要のテープ・ラック等の処分と机の移動	→	→	→	→	→
・ キャビネットの移動と床掃除	→	→	→	→	→
・ 赤外線による貼り出し(要る物/不明/頻度が少ない物/不要)	→	→	→	→	→
・ 白テープ統一化による製作と物の移動	→	→	→	→	→
・ 図面棚の整理整頓と番地表示	→	→	→	→	→
・ スチールケース等の整理整頓と表示	→	→	→	→	→
・ 整理整頓のルール決め	→	→	→	→	→
・ LEANワークスペースの整理直し	→	→	→	→	→
組立G					
・ 現状の把握	→	→	→	→	→
・ 物置の整理整頓、作業場より物を移動しストックする	→	→	→	→	→
・ 作業現場内物の場所見直し、移動	→	→	→	→	→
・ 不要物の廃棄、購入品等の優先順位に基づいた移動	→	→	→	→	→
・ 物の増設を行う(スペースの有効利用の為)	→	→	→	→	→
・ 定位置化と番号管理	→	→	→	→	→
・ 相等の表示	→	→	→	→	→
・ 現場内のラインテープによる線引き	→	→	→	→	→
・ 整理整頓のルール決め、標	→	→	→	→	→

2022年3月から7月まで実施した結果

事務所G : 52点・・・目標達成

組立G : 43点・・・目標未達成(ドームへの移動が困難)

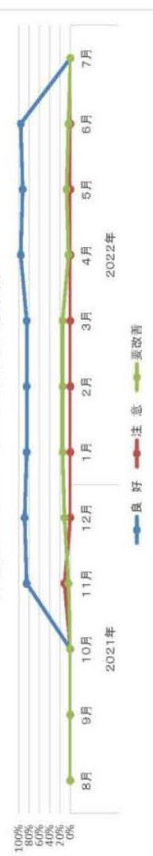
2022年8月からは、ドーム入口、ドーム内等の大幅にレイアウトを変更する事にした。これに並行して組立Gの改善を行い、達成出来なかった部分をクリアする活動を行う

目標に向かう為の実施事項	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月
ドーム						
・ 現状の把握	実施中	→	→	→	→	→
・ 会社入口周辺の片付けと移動	→	→	→	→	→	→
・ レイアウトに関する立案と考案	→	→	→	→	→	→
・ 定位置化と番号管理	→	→	→	→	→	→
・ 相等の表示	→	→	→	→	→	→
・ 現場内のラインテープによる線引き	→	→	→	→	→	→
・ 整理整頓のルール決め、標	→	→	→	→	→	→
組立G						
・ 定位置化と番号管理	→	→	→	→	→	→
・ 相等の表示	→	→	→	→	→	→
・ 現場内のラインテープによる線引き	→	→	→	→	→	→
・ 整理整頓のルール決め、標	→	→	→	→	→	→
※ドーム改善活動と並行で行う						

安全衛生活動

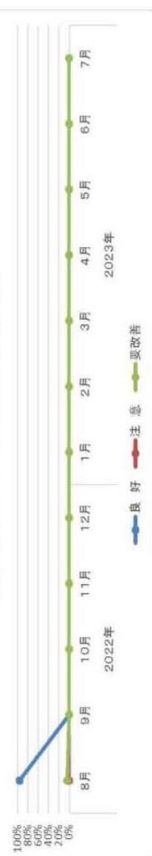
状態	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
良好	0%	0%	0%	0%	0%	85%	85%	85%	85%	92%	96%	96%
注意	0%	0%	0%	0%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
要改善	0%	0%	0%	0%	4%	15%	15%	15%	15%	8%	4%	0%

安全衛生ハットルールによる安全状態推移



状態	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
良好	96%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
注意	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
要改善	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

安全衛生ハットルールによる安全状態推移



■ 2022年 7月ハットルール注意・要改善事項指示
◎2022年 7月 7日(木)に実施

・要改善事項: 0件

■ 2022年 8月ハットルール注意・要改善事項指示
◎2022年 8月 5日(金)に実施

・要改善事項: 1件

◎ 特に気になった場所

製品の管理状態 (NGTS)
==> 金型の研削機手前には置いてあるエンドレスの上に製品が置いてあります。お客様がこの管理を見たらどう思いますか? 製品をこんな扱いして良いのですか?



5 5期(2022年8月～2023年7月)からの取組

- 電力(CO₂)の削減 : 電力メーターの基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、使用ピークの把握と各部門節電の実施
- 一般廃棄物の削減 : 雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。
- 上水の削減 : 各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。
- 金属くず(異常発生品) : 異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。
- 含有禁止物質の削減(グリーン購入) : 客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。
- エコ商品購入の推進(グリーン購入) : 事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。
- ※有機溶剤は管理項目として掲げる。

4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規項目			遵守状況	違反、訴訟、苦情
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	○	2022年7月末時点で無し
		騒音規制法	○	2022年7月末時点で無し
		振動規制法	○	2022年7月末時点で無し
		悪臭防止法	○	2022年7月末時点で無し
	大気汚染に関する法律	フロン排出抑制法	○	2022年7月末時点で無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	2022年7月末時点で無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	2022年7月末時点で無し
		家電リサイクル法	○	2022年7月末時点で無し
	化学物質に関する法律	消防法	○	2022年7月末時点で無し
		高圧ガス保安法	○	2022年7月末時点で無し
	その他の法律	労働安全衛生法	○	2022年7月末時点で無し
		特定特殊自動車排出ガス規制法(オフロード法)	○	2022年7月末時点で無し
		働き方改革関連法	○	2022年7月末時点で無し
		粉塵障害防止規則	○	2022年7月末時点で無し
	条例	埼玉県生活環境保全条例	○	2022年7月末時点で無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	○	2022年7月末時点で無し
		飯能市下水道条例	○	2022年7月末時点で無し
	顧客との取りまとめ	リコグリーン調達ガイドライン	○	2022年7月末時点で無し
訴訟の有無	環境関連訴訟		○	2022年7月末時点で無し

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟は、ありません。
また、行政等から違反等の指摘及び外部からの苦情も過去ありません。

5. 代表者による全体評価と見直しの結果

経営者による評価及び見直し結果報告書

見直し案	見直し案作成日	2022年 7月29日 (金)	作成者	生津 節男
	見直し対象期間	2021年 8月 1日 ~ 2022年 6月30日		
	見直し実施時期	2022年 7月25日 (<u>定期</u> , 臨時)		
	出席者	安達知明、生津節男、梅澤重隆		
総括者（代表者）の評価と指示	提出資料	・エコアクション21-2017年版 ・リスク管理一覧表（2021年 8月 2日）様式第1号 ・環境経営方針（2020年 8月 1日制定） ・株式会社ニッシン環境経営組織図（2021年 8月 2日制定）図-1-1 ・環境経営目標一覧表（2021年 8月 2日制定）様式第5号 ・環境経営活動計画書の実施状況（2021年 8月～2022年 7月分実績評価済）様式第6号 ・環境経営委員会（2022年 7月29日開催）様式第7号 ・環境経営目標の実績集計と達成度算出（2021年8月～2022年6月分）		
	見直し評価日	2022年 7月25日 (月)	総括者	生津 節男
	見直し評価結果項目	内 容		評 価
	①リスク管理	・変更有り		○
	②環境経営方針	・今回は改訂無し		○
	③環境経営組織	・55期から部門責任者の改訂有り		○
	④環境経営目標	・51期基準に対し、54期（基準期より3年目）の売上は約26.5%減であった。新型コロナウィルスの影響やロシア情勢による部材の入手困難が原因。 その為、各テーマにおいて目標3%減に対し、全て未達成となってしまった。 電力・・・31.89%増 上水・・・60.45%増 異常発生品・・・309.57%増 二酸化炭素(電力)・・・31.89%増(二酸化炭素全体では22.17%増) 55期も引き続き部材入手の困難が予測される。売上確保と、無駄なエネルギーを抑え、又、異常発生品を出さないよう5S・品質管理をリンクさせながら今以上に活動を行う。		○
	⑤環境経営活動計画	全ての計画に関しては活動を行っている。		○
	⑥EMS	・来期(55期)も、引き続きISO9001の運用を上手く利用しつつ、作業の効率化を行っていただきたい。今回の未達成についての対策、生産性向上に向けた計画をしっかりと立てて頂きたい。		○
	⑦総括者の指示	・55期(2022年8月1日～2023年7月)は、無駄な電力を使用せず、引き続き仕掛在庫の低減、各部門の生産性向上、無駄な作業を無くす事を意識する。又、新型コロナウィルスによる市場の動向を把握し、売り上げ確保をする為の活動を行う。		○
改訂指示	改訂内容	・各部門の実施手順書等の差替えがあります。		
	環境管理委員会	審議日	2022年 7月29日 (金)	
		審議内容	各テーマ削減達成状況と55期(2022年8月～2023年7月)の活動について	
		審議結果	全員一致で2022年8月1日より実施する事に決定。	

注1：評価は良＝○、改善を要するが結果は良△、再検討×